

2026(令和8)年度花園大学大学院(秋季募集)

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 臨床心理学領域 専門【出題意図】

1. 用語説明問題 (各150字程度)

心理学の主要領域における**基本概念**について、**定義・要点・理論的位置づけ**を簡潔かつ正確に説明する力を評価する。単なる暗記ではなく、概念の本質を理解し、過不足なく記述する能力を問う。

(1) nomothetic approach

直訳すれば「法則定立的アプローチ」であり、多量のデータの法則性を見ていくアプローチの総称である。修士論文を作成する際、理解しておくべきアプローチの1つであり、過不足なく説明できるかを評価する。

(2) RCT (randomized controlled trial)

直訳すれば、「ランダム化比較試験」であり、被験者を無作為に複数のグループに分け、特定の治療効果を比較するための科学的実験の形態を指す。選択バイアスの影響など、簡潔かつ正確に説明できる力を評価する。

(3) conduct disorder

直訳すれば「素行症(旧称:行為障害)」であり、精神医学上の少年非行の概念であり、理解しているかを問う。

(4) Eric Berne

カナダ出身の精神科医で、主な業績は交流分析(Transaction Analysis: TA)を提唱した人物であり、人名の場合は、その業績について説明を求めている。

(5) Genogram

ジェノグラムは、世代関係図とも呼ばれ、家族関係や血縁関係を視覚的に表現する図のことである。実習で担当ケースのジェノグラムを作成する機会が多く、理解しているかを問う。

(6) lie scale

心理検査の受検者が正直に回答しているかどうかを判断するための基準であり、正しく理解しているかを問う。

(7) comorbidity

直訳すれば「併存症」であり、患者が同時に複数の疾患や病状を抱える状態を指す。素行症の者がADHDを併せ持つ場合、「comorbidity」と表現される。事例に即して論理的に説明できる力を重視している。

(8) John E. Exner, Jr

アメリカの心理学者で、ロールシャッハ・テストの分析法の1つとして、包括システムを開発し、多くの流派の採点方法を統合し、実証的データに基づく解釈を提唱し、国際的な研究者間の連携を活性化させた人物である。

2. 記述問題 (各800字程度)

臨床心理学における理論理解・概念間の比較検討・事例への応用力を総合的に評価する。論理構成、用語の適切さ、因果関係の明確さを重視する。

(1) 重回帰分析における多重共線性と、その対処法について説明しなさい。

重回帰分析において説明変数同士に強い相関関係がある状態を指し、精度と信頼性を脅かす要因とされ、変数を合成して1つにまとめたり、片方を除外したりするなどの対処法をとる。論文執筆に必要な知識を問う。

(2) クライアント中心療法において、セラピスト側に求められる中核3条件のうち、「純粋性(自己一致)」とは、どのような態度のことかを説明し、その効果を論じなさい。

カウンセラー自身の態度に裏表がなく、ありのままの純粋さを意味し、クライアントの語りを十分に把握できていないとき、もっと話を伺いたいと伝える態度が信頼感を高める。理論と臨床実践を結びつける力を問う。

(3) 拮抗条件づけと自発的回復について、具体例を挙げて説明しなさい。

拮抗は、相反するものが干渉し合う状態を指し、拮抗条件づけは条件反応を打ち消す手続きである。再び条件反応が生じる現象を、自発的回復と呼ぶ。事例に即して論理的に説明できる力を重視している。